個人質問

小川　一馬　議員

Q　協議会の進捗状況ならびに今後の予定はどうなっているのか。

A　都市整備課長　10月に第1回、11月に第2回を開催させていただいており、今年度につきましては、あと4回の開催を予定しております。駅前広場のデザインテーマについても、議論をしていただく予定であり、次年度以降も引き続き、年6回程度開催させていただく予定でおります。

A　教育部長　平成18年6月に第1回の会議を開催して以来、今年度までに9回の開催を数えています。年に1回～2回、必要の都度、開催をさせていただいている状況です。

Q　給食費に関しては、材料費、光熱費、人件費など、どのようになっているのか。

A　教育部長　給食費の額は、小学校240円、中学校260円で、給食費については、すべて食材の購入費に充てさせていただいております。

その他の経費につきましては、市の負担となっております。

議会議員による学校給食試食会（平成24年11月27日実施）

●学校給食事業の運営と取り組みについて

Q　南房総市の学校給食センターは、日本一の学校給食を目指しているとNHKラジオで紹介された。市の学校給食運営委員会の取り組みについてはどうか。

Q　メニューにより、子供たちの食べるぐあいも日々違うと思うが、よりおいしい給食を提供するために、どのようにしているか。

A　教育部長　給食に関するアンケートは、現在まで実施しておりません。栄養士による給食の指導が、昨年度は、成東のセンターで90回、山武のセンターで40回という回数を行っております。その中で子供たちに意見を聞いています。

アンケートについては、今後の運営委員会の中で検討させていただきたいと思います。

●災害復興・成東～蓮沼海岸の堤防と防風林の再生・避難道路及び周辺整備について

Q　海岸の堤防、盛り土について、県の計画はどのようになっているのか。

A　都市建設部長　今月の25日に、旭市で地元の説明会を行ったという報道も出ておりました。

計画につきましては、平成23年度から27年度までの5カ年計画で整備を予定しています。山武土木事務所からは、防護施設の位置、構造等につきましては、今後、市及び地元の説明会を行う予定と伺っております。

Q　県から、計画が示されていないということだが、山武市は、旭市に次いで、津波の被害を受けた地域である。優先順位から言っても、1日も早く計画が示されるように、市長からも、その辺をしっかりと伝えていただきたい。

保安林に関して、管理は確かに県かもしれないが、蓮沼から成東まで防風林の面積を植えるのに、市は何十年くらいの計画を見込んでいるのか。直接、被害を受けるのは、そこに生活している人々であり、市民であるが、どう考えているのか。

A　市長　海岸の整備、保全は、国、県の仕事となっていまして、防風林の整備は、県が行うものでありますので、市として、独自の計画を立てるという考え方を持っておりません。しかし、災害を受けて、市民がいろいろな不安を持っているということです。

また、自発的なさまざまなお考えもあるということですから、そういったことをあわせて、県事業ができるだけ早く進むように、市として、いろいろ考えていくということは、十分できると思います。

Q　避難道路の計画について、現在の状況を説明いただきたい。

A　総務部長　災害時の想定交通量を考慮して、主要な避難道路、5路線を選定しております。県道が成東鳴浜線、松尾蓮沼線、芝山はにわ線、市道が、川崎から中谷之下浜線、富口から井之内浜線。計画の実現に向けては、時間的に長くかかるかもしれませんが、着実に取り組んでいきたいと考えております。

Q　海岸の整備に関連して、蓮沼地域に3か所、成東地域に3か所の海水浴場があるが、将来の海水浴場のあり方も、今後の計画の中に入れたらどうか。

A　経済環境部長　長期的に見ますと、レジャーの多様化などにより、海水浴客は年々減少傾向にあります。

現在、県が計画しております防潮堤の進捗により、計画を見きわめて、海水浴場の開設並びに海岸の利活用を検討していく必要があると考えております。

Q　蓮沼庁舎及びその周辺の整備について、前回の一般質問で、後期総合計画の中に盛り込むという話であったが現在の進捗状況についてはどうか。

A　総務部長　防災機能に加え、地域の活性化に寄与する機能を備えた施設という観点から、既存の蓮沼出張所及び中央会館にかわる安全な避難場所及び災害対策の拠点となる施設を、現在検討しています。